

第五代国王 ファハド国王



二聖モスクの守護者ファハド・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード国王は、2005年8月1日に逝去しました。

二聖モスクの守護者ファハド・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード国王は、1923年にサウジアラビア王国の建国の祖であるアブドゥルアジーズ国王を父として、リヤードで生まれました。1953年には教育相となり、また1962年に内務相を歴任し、1967年に第二副首相に就任しました。1975年に皇太子に即位し、副首相を任命され、その後1982年にサウジアラビア王国第五代国王に即位しました。そして国内外においてサウジアラビアの繁栄を形作る多くの計画の構想と実行に携わりました。

ファハド国王は、現存する政治管理システムの活性化と合理化を目的とした政策を導入しました。1992年には、政府組織の基本法である「基本統治法」と、「諮問評議会法」を公布しました。また、地方の発展のための「地方行政法」を公布し、翌年には「閣僚会議法」を制定しました。

ファハド国王は、外交面においても積極的に活動し、特にイスラム教徒やアラブ人にかかわる事柄には、国王自ら卓越した外交手腕を発揮し、アラブ・イスラエル紛争では和平による調停を積極的に進めました。

ファハド国王は、1990年から1991年の湾岸危機の時、クウェートの解放に向けてアラブ・イスラム諸国はもとより世界からの支援を求める際に重要な役割を果たしました。

国王は、湾岸地域やアラブ・イスラム世界におけるその他の重大な局面において、協議による和解を積極的に支持しました。ファハド国王の類まれなる業績によりアラブ・イスラム世界において、同国王は重要な指導者となりました。

そしてファハド国王は、世界にサウジアラビア王国の素晴らしい過去と力強い未来を示しました。同国王の聡明で洞察力に満ちた統率の下、サウジアラビアはイスラムの遺産を失うことなく近代化に邁進しました。

アブドゥラー新国王



ファハド国王の死去に伴い、副首相兼国家警備隊総司令官アブドゥラー・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード皇太子が国王に即位。

1924年 リヤードで生まれる
1964年 国家警備隊総司令官に就任
1975年 第二副首相を兼任
1982年 皇太子に即位、副首相に就任
2005年 サウジアラビア王国第六代国王に即位

二聖モスクの守護者アブドゥラー・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード国王は、ファハド国王の逝去に哀悼の意を表し、「ファハド国王は信心深い行いとサウジアラビア王国とアラブ・イスラム問題に時間を捧げ、逝去されました」と国民に対し演説しました。

「この悲しいときに、我々は国家のために働いてきたファハド国王のご功労に神のご加護があらんことをアッラーに祈りましょう。ファハド国王の死後、私はこの偉大なる責任を引継ぎ重責にも感じますが、王国の建国者アブドゥルアジーズ・アール・サウード国王とその後継者たちの道程を私が歩めるよう、全能の神アッラーに祈ります」とアブドゥラー国王は話しました。「私は、聖コーランを憲法とし、イスラム教を生活様式とすることを約束します」と付け加え、「私の治世において、正義の柱を強化し、どんな差別もなく国民に奉仕してまいります。私の責務に対し、皆さんの支援と助言を頂きたいと思います」と述べました。

「私は、国民の平和と安全を全能の神アッラーに祈ります」とアブドゥラー国王は話しました。

スルタン新皇太子



第二副首相兼国防・航空相兼監察長官スルタン・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード殿下が皇太子に即位しました。

1928年 リヤードで生まれる
1947年 リヤード州知事に就任
1953年 サウジアラビア初の農業大臣に就任
1955年 交通大臣に就任
1962年 国防・航空大臣に就任
1982年 第二副首相を兼任
2005年 皇太子に即位、副首相に就任



愛・地球博 サウジアラビア館

2005年3月25日から9月25日まで開催された「愛・地球博」にサウジアラビアも参加し、サウジアラビアの過去、現在、未来を紹介しました。5月8日には50万人、6月19日には100万人、8月末には200万人の来館者を迎えました。



皇太子殿下、ご視察 (2005年6月8日)

皇太子殿下のサウジラビア館ご視察の際には、トラッド・サウジアラビア大使とハラワニ・サウジアラビア館長がご案内しました。



サウジアラビア・デー (2005年9月9日)

サウジアラビア・デーにおいて開催されたイベントでは、来日したヤマーニ商工大臣が来館された皆様をお迎えました。

ハーシム・ヤマーニ商工大臣のメッセージ

2005年「愛・地球博」におけるサウジアラビア・デーにサウジアラビア館にお越し頂きまして誠に光栄に思います。サウジアラビアの基本理念は「愛・地球博」の目的と一致し、このことは我々のパピリオンで表現されています。

この数十年間にサウジアラビア王国はさまざまな開発分野において自然と共存しながら大きな発展を遂げました。今後も更なる自然環境保護に努め、開発をすすめていきます。

サウジアラビア王国は本年6月、日本との国交樹立50周年を迎え、その記念行事の一環として「愛・地球博」に参加しました。サウジアラビアの輝かしい未来と我々の長い歴史を理解していただくことにより、両国の関係がより一層特別なつながりを持つことができました。最後に日本政府および国民の皆様、また豊根村と村民の皆様から感謝の意を申し上げたいと思います。

